

ある年の三月。卒業式に向けての体育館掃除を五年生と一緒にしていた。五年生の子どもの様子をみていると、一箇所の掃除が終わっても、次の掃除場所をさがし、自分で、自分たちで考え、行動する姿があった。掃除が終わると全体で集合し、五年担任の話を真剣に聴いていた。全てを終えて体育館を出ようとしていると、一緒に掃除をした五、六名の五年生が側に来て「ありがとうございませした。」と頭を下げた。正直、今まで経験したことがなかったことだ。

「指示待ちで、自分で考えて動けない。」「自発性を伸ばすにはどうしたらよいか。」このような言葉を聞くことが多くなったが、子どもたちが自分で考えて行動をおこす一つに、「だれかのために」役立つ喜びがあるといえる。家庭において、「だれかのために」という思いや気持ちを育てていくことは大切だと思う。そして、子どもが「だれかのために」と行動したときは、「ありがとう。助かったよ。」「ありがとう。うれしいよ。」という言葉を返したい。

連載・青少年健全育成シリーズ 第284回

「だれかのために」

青少年の声かけあいさつ運動の推進  
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』



毎月第1日曜日は「家庭の日」  
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。  
青少年育成都留市民会議編集委員

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？  
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています  
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ先：行政管理課 秘書広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月  
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。  
掲載状況は、下記をご参考としてください。  
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄